

### 指定管理者評価シート

#### 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市広瀬図書館
2 指定管理者	丸善雄松堂株式会社
3 指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和2年度：104,218人団体〔個人：103,955人、団体・文庫：263団体〕（前年度比 84.0%） 令和元年度：124,099人団体〔個人：123,598人、団体・文庫：501団体〕（前年度比100.2%） 平成30年度：123,852人団体〔個人：123,314人、団体・文庫：538団体） 《事業》 仙台市広瀬図書館の運営管理
5 収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 54,869千円 （54,757千円） ・ その他市が負担した費用 8,752千円 （8,880千円） 《収入》 ・ 使用料収入 千円 （ 千円） ・ その他収入 15千円 （ 26千円）
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート 実施期間：令和2年12月10日（木）～23日（水） ・ 利用者懇談会 開催日：令和3年2月5日（金）

#### 二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき管理運営されており、全館共通の業務や行事も適切に行っている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みもなされている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況及び施設の開館状況は仕様書のとおり適切である。指定管理料は適正に執行されている。個人情報保護の取り扱いや図書館情報システムのセキュリティ対策も徹底している。事故防止のチェックリストに基づき、事故や苦情等の事例を榴岡図書館と共有し、ヒヤリ・ハット集の充実を図っている。災害発生時の訓練は、関係機関と合同で適切に実施している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物、設備及び備品は適切に管理されている。施設全体で組織するごみ減量委員会に参加してごみの減量に努め、利用者が不要となったエコバッグを必要な人に提供するなど環境へ配慮した取り組みがなされている。	17/17
IV サービスの質の向上	視聴覚資料の展示コーナーの配置換えにより利用の促進を図り、ブックカートの貸出し数を増やす等、利用者への細やかな配慮に努めている。接遇研修として認知症の方への対応を学び、全職員が認知症サポーターの認定を受けて様々な場面を想定したサービスの向上に努めている。	27/27

<b>V 施設固有の基準</b>	<p>ヤングアダルト世代(中高生)に向けた読書活動推進の取り組みとして、選書アドバイザーとして学生を募り、ともに選書、展示、広報誌づくりを行うなど、積極的な取り組みを継続的に行うとともに、児童の朗読ワークショップや英語絵本の読み聞かせ等を行う「えいごdeおはなし会」を開催し、若年層向けの取り組みを積極的に行っている。また、仙台高等専門学校広瀬キャンパスと連携し、夏休みプログラミング工作会や英語多読教室を実施したほか、宮城総合支所保健福祉課と協力し、「認知症フレンドリー」や「自殺対策」に関する資料の展示および啓発パンフレットを配布するなど、外部機関との連携により、地域の特色を生かしながら魅力的な図書館事業を展開している。</p>	18/16
------------------	---	-------

### 三 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂 株式会社）による自己評価》
<p>令和2年度の図書館運営は、独自に策定した基本方針と図書館振興計画の施策に基づき、事業計画を着実に実施した。1. 基本業務は、図書館の基礎的機能を充実させるため、職員対応の効率化を目指し業務全体の共通化・平準化を図った。また、新型コロナウイルス感染症への対策として、独自に作成したチェック表による館内消毒・換気の徹底等により、安心して図書館を利用できる環境づくりにも努めた。宮城総合支所との協力による地域課題の解決を支援する資料展示・啓発コーナーの設置にも継続して取り組んだ。2. 自主事業は、参加者の獲得と感染症対策の両立を目指した。行事毎に感染症対策をまとめるための様式作成等にも取り組みながら、併設施設や近隣施設との連携・協力による特色ある事業の実施に努め、年間事業参加者数は延べ4,682人に上った。3. 利用実績は、利用者数/日（延べ人数）で37.7人減、貸出冊数/日で153.9冊減、返却冊数/日で152.8冊減といずれも減少した。主たる要因としてはコロナ禍の影響が考えられる。図書館サービスの一部休止や不要不急の外出の自粛要請などにより図書館の利用が伸び悩む結果となった。4. 職員に対する教育研修は、指定管理者研修、仙台市図書館主催研修、外部研修を併用して実施した。コロナ禍において実施の増えたりリモート研修にも積極的に参加し、研修報告書の作成と全体会議での報告を通じた研修内容の共有についても継続して実施した。5. 運営の評価は、自己評価や市民図書館による定例監査のほか、第三者評価として「利用者アンケート」を実施した。また、図書館利用者等の意見・評価を得ることを目的に「利用者懇談会」及び「ボランティア懇談会」を開催した。6. 施設管理は、「仙台市公共施設点検要綱」に基づく定期点検を適切に実施した。また、入居施設である広瀬文化センターとの緊密な連絡により効率的な施設管理を行うことができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、宮城総合支所と「こころの声に耳をすませて～頑張りすぎていませんか?～」をテーマに悩みを抱える市民に寄り添う資料の協力展示や日本ベビーサイン協会認定講師によるベビーサイン体験会を行い、本市が目指す「地域・市民に役立ち、共に成長を続ける図書館」の実現に向け取り組んだ。</p> <p>中高生（ヤングアダルト世代）が読書に親しめるよう選書アドバイザーを募集し、中高生による自薦・他薦の読みたい本の選書活動やブックリストづくりなどの活動支援、本の紹介や本に関する会話を楽しむ読書会も引き続き行った。また、英会話教室の外国人講師を招き、子ども向けイベントとして英語絵本の読み聞かせや英語で手遊びなどを行う「えいごdeおはなし会」を開催し、国際化社会における英会話教育のニーズを踏まえた特色あるイベントを開催した。</p> <p>また、広瀬文化センター・市民センターとの共催事業「ひろせ寄席～愛子で楽しむ本格落語～」をはじめ関係機関、地域や地元企業と連携した自主事業もより一層の充実を図り、地域の特色を活かしながら魅力的な事業を実施し、多くの参加者を得ている。仙台高等専門学校広瀬キャンパスとは様々な形で連携を深めており、夏休みプログラミング工作会は小学校でプログラミング授業が導入されたことにより市民の関心が高く、参加者からも高評価が得られた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策としては、独自のチェック表により館内の消毒や換気を徹底して管理するなど環境整備にも努めた。</p> <p>職員の教育・研修においては、全職員向け接遇研修として図書館員が学ぶ認知症サポーター養成講座を実施するほか各種リモート研修にも積極的に参加し、職員の資質向上を図った。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
------

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館